

親子支援だより

## 2022年6月 ほっと通信

浜松学院大学付属幼稚園  
心の相談員 中島祐子



付属幼稚園保護者の皆さま、こんにちは♡

5月号では、我が家の保護猫ちゃんのみわりとカレンのエピソードを読んで下さり、ありがとうございました。2匹のその後ですが、一緒に住み始めて1ヶ月が過ぎ、．．なんと今朝！先住のみわりの方からカレンの鼻に自分の鼻を2回くっつけたのです！この動作は猫同士の挨拶のようなもので、その後唸っていたものの（複雑な気持ちだったのかにゃ？）、想定外のみわりからの歩み寄りの瞬間を、朝ごはん中だった娘と私は息を吞んで見守り、顔を合わせ「すご～い！」と歓声！朝からめっちゃハッピー&ハッピーな気持ちにさせてもらいました。もちろん、まだまだ心配なこともあります。野良ちゃんだったカレンが、環境が大きく変わったストレスから耳の後ろに脱毛や風邪症状が出てしまい、．．受診しながら見守っています。

この8ヶ月、みわりとカレンを家族としてお世話する中で気づかせてもらったこと、．．♡

- ：この子たちは、私たち家族に～愛というプレゼント～を持ってきてくれた！
- ：その愛は、一緒に生きてくれている命という存在の価値そのもの。
- ：その愛をしっかりと受けとっていくと、ネコと人との間に愛が循環していく。
- ：それって、人間の子どもと親との出逢いについても同じことが言える、．．
- つまり、子どもは親に愛というプレゼントを持って生まれてきてくれる。
- ：一般的に親は愛を与える一方と思いがちだけれど、子どもが与えてくれている愛があることに気づいてなくて、子どもからの贈りものを受けとっていない可能性があるのではないかな？
- ：もし親が子どもの命・存在を、親への愛のギフトとして日々受けとることを選択するぞー！と覚悟を決めるなら、子育ての世界観が逆転するのではないだろうか？

．．．こんなことを思い巡らしていた最近、参加した胎内記憶教育の講演会で、まさに同じことが話されていました。胎内記憶教育とは、お母さんの胎内での記憶やお腹に入る前の『たましいの存在』だった頃の記憶を語る世界中の子どもの証言をもとに、『たましいの視点』から親子・家族の出逢いや人生のテーマを捉え、自らの人生に活かしていく研究分野です。

（約40年前に世界的ベストセラーとなった『胎児は見ている』の著者トマス・バーニー博士や、日本での研究の第一人者として産婦人科医の池川明氏が携わっています）

信じる信じないという次元ではなく、この世で不幸と思える出来事を、この胎内記憶教育の視点から受けとめてみることの素晴らしい可能性を感じ、私自身のカウンセリングにも取り入れています。この視点を持っていたからこそ、みわりとカレンとの交わりを通して、上記の気づきに至ったのかもしれませんが。また、昨今の悲しい戦争を通して、家族一緒に普通に過ごせることの奇跡を教えられる毎日であることも、．．．もちろん、子どもが機嫌が良くて大人の期待に添う様子の時は、子どもからの愛を受けとっていることは多いと思います。けれども、カウンセリングをさせて頂く中でしみじみ思うことは、大人から見て、子どもが可愛くない！苛立たせる！困らせる！といった一見ネガティブな状況の時にこそ、子どもたちは誠の愛のメッセージを送ってくれているという真実なのです。胎内記憶教育、つまりたましいの視点から捉えていくことは、さながら高～い空の上から、または静かな海の底から起こっている出来事を俯瞰して眺めるような感覚とも言えるかもしれません。「えっ？それってどういうこと？？」

今年3月のほっと通信でも綴りましたが、「お母さん、何かしんどそうだよ。いっぱい頼ってもっと楽になっていいんだよ」「お母さん自身のこと、お母さんの人生をもっと大切にしたいんだよ」「お父さんとお母さん、もっと素直に歩みよって助け合ったら笑顔になれるよ」「ボク・ワタシは今ままで充分幸せなんだよ。将来のためって色々してくれなくっても大丈夫だよ」等々…。私自身、自分の子育ての時は、到底そんな風に思えぬことばかりでした！（ご安心下され～ww）ただ、いま振り返ってみると、悩み苦しんだ状況の中に隠れていた、子どもからの『切実な愛のプレゼント』を、確かに見つけることができるのです。どの子どもも自分のお父さんお母さんにふさわしい贈りものを持って生まれてきてくれています。カウンセリングを通して、悩めるお母さんと一緒に、泣いたり笑ったりしながらそのプレゼントを探していく営みに同伴させて頂けることは、私にとって深い大きな喜びです…。ありがとう！

（心の支援、中島祐子）

### ♡今月のほっとアドバイス♡

読者の皆さんは、子どもから親への『愛の贈りもの』ってどんな想いだと思いますか？  
「親になってくれて、命懸けで産んでくれてありがとう。世界でいちばん大好きだよ。お父さんお母さんのいのち、大切だよ。かけがえのない尊い存在だよ。…」

今年も“梅雨いり…”ですね…

大人にとってはいろいろと憂鬱な雨…。「あーあ、今日は雨…外いけないねえ～」子どもたちにそういう話をすると決まって「でもね、カエルは雨、大好きなんだよね！！」なーんて教えてくれます。そのたび、こっち側からみて嫌なことも、あっち側からみると嬉しいことになるんだな、と頭の硬さを反省し、心の狭さに気付かされます”(-“-)”

雨をぼんやりながめ、何か気付くことができるような心のゆとり、時間のゆとり…  
大切かも…ですよ。トホホ…

<鴨藤有希子>

### ～付属幼稚園、親支援カウンセリングについて～（カウンセリングは無料です）

\*原則、毎週（木）（金）に、9時～10時、10時半～11時半、13時～14時の3枠で行なっています。（会議室使用不可の時は、お休みの場合があります）

\*日程は園ホームページをご確認下さい。予約可能な枠がアップされています。

\*ご予約は園電話（472-5193）へお願いいたします。

\*カウンセリングの会場は、幼稚園受付左手階段上の会議室です。

\*カウンセリングの対象は付属幼稚園保護者となります。空き状況により、未就園児活動に参加している保護者（当園に入園予定の方）をお受けすることができます。

\*未就園のお子さまの託児の依頼が可能です。予約時にご相談下さい。（1回千円）

### ～お知らせ～

今年度から、どんぐり広場でも原則月の最終週にご相談をお受けすることになりました。肩の力を抜いて、お子さん同伴で一緒にお話しましょう。どうぞ気軽にお声がけ下さい。